

科目ナンバリング		U-LAS29 20028 SJ48			
授業科目名 <英訳>	日本語アカデミック・ライティング Japanese Academic Writing I			担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 准教授 阿久澤 弘陽
群	外国語科目群		分野(分類)		使用言語 日本語
旧群		単位数 2単位	週コマ数 1コマ	授業形態	演習(外国語)(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2025・後期	曜時限	火2	配当学年	1回生
				対象学生	留学生
[授業の概要・目的]					
論文・学術的レポートを日本語で書く上で必要な基礎的な知識・技能を身につけることが主な目的である。本授業では、論文の文体や表現、資料の探し方、引用の基本、要約、文のタイプ、図表の作り方などの講義と、日本語での意見文作成の実践を通して、まとまった量の論理的な日本語を書けるようになることを目指す。					
[到達目標]					
・自分で資料を集めて、その論旨を上手にまとめられるようになる。 ・論文で使う日本語表現を学んで、使えるようになる。 ・議論の展開の仕方を学んで、短い意見文が書けるようになる。					
[授業計画と内容]					
日本語で論文を書く上で必要な基礎的知識(資料の探し方、論文の要約方法、参考文献の書き方など)を学ぶ。また、論文で使う文体、日本語表現などを実例や実践を通して学び、最終的にいくつかのテーマに基づいた意見文を完成させる。					
第1回 オリエンテーション/論文とは 論文がどのような性質をもっているのかを学ぶ。					
第2回 論文の文体と表現 学術的文章の特徴を知る。					
第3回 論文の文体と表現 学術的文章の特徴を実践を通して学ぶ。					
第4回 資料の探し方・集め方 資料の種類と性質、集め方を知る。					
第5回 引用とは/引用の仕方と参考文献の書き方 引用の基礎、引用の仕方、参考文献の書き方を学ぶ。					
第6回 要約の基礎/論文要約 要約の基本を学び、短い日本語の意見文を要約する。					
第7回 論文要約 /論文の種をまく 実際の小論文を要約してみる。論文に疑問をぶつける練習をする。					
第8回 調査方法の基礎/文のタイプ(事実・意見・行動を述べる文) 調査をする際の注意点を学ぶ。事実と意見を分けることの重要性を知る。いかに日本語で事実・意見・行動を書き分けるかを学ぶ。					
第9回 論文の基本構成 論文の書き始めに関する基礎知識を学ぶ。					
第10回 論文の基本構成 論文での議論の展開方法を学ぶ。					
第11回 論文の基本構成 論文の締め方を学ぶ。					
第12回 図表・グラフ作成の基礎/図表・資料の表現					
-----日本語アカデミック・ライティング (2)へ続く↓↓↓					

日本語アカデミック・ライティング (2)

図表・グラフ作成の基礎とそれらを提示するための表現を学ぶ。

第13回 意見文の推敲(日本語)

他人の意見文と比較しながら自分の意見文の日本語を推敲する。

第14回 他人の意見文を評価する(内容)

他者の意見文を評価しながら自身の意見文の内容を推敲する。

《期末レポート》

第15回 フィードバック

【履修要件】

日本語・日本文化研修留学生専用科目として開講する。

【成績評価の方法・観点】

授業への参加度(30%)、課題(30%)、意見文完成稿(40%)によって評価する。

【教科書】

使用しない

ハンドアウトを配付する。

【参考書等】

(参考書)

浜田麻里ほか『論文ワークブック』(くろしお出版, 1997)

小森万里・三井久美子『レポート・論文を書くための日本語文法』(くろしお出版, 2016)

【授業外学修(予習・復習)等】

授業では、授業外で行う課題を用いての実践やグループワークを行うことがあるので、課題には計画的に取り組むこと。

【その他(オフィスアワー等)】

【主要授業科目(学部・学科名)】